



クラブテーマ 「一人ひとりが輝こう」
出会いと絆を大切に

会長：北 健司 例会日：金曜日 12:30~13:30
副会長：加藤久仁明 例会場：ホテルプラザ勝川
副会長：伊藤 一裕 事務局：春日井市鳥居松町 5-45
幹事：青山 博徳 TEL:(0568)81-8498 FAX:(0568)82-0265
会報委員長：柧本 正樹 E-mail : ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp

本日のプログラム

	司会	会場委員会
・点鐘	会長 北 健司君	
・国歌	「君が代」	
・ROTARY SONG	「日も風も星も」	
・ビジター紹介	会長 北 健司君	
・食事・歓談		
・委員会報告		
・会長挨拶	会長 北 健司君	
・入会式		
・卓話		峠 テル子君 村瀬 昌史君
・幹事報告	幹事 青山 博徳君	
・点鐘	会長 北 健司君	

先週の記録

会長挨拶 会長 北 健司君

「ロータリーの素晴らしさを伝えたい」

皆さんこんにちは。今日も例会への出席、ありがとうございます。

今日は「ロータリーの素晴らしさを伝えたい」との思いから、10年ほど前になりますが、地区広報委員会からの原稿依頼により、2010年6月2日の中部経済新聞「ロータリーページ・私とロータリー」に寄稿しました内容をお伝えしたいと思います。

ロータリークラブは素晴らしい。ロータリーは敬愛に満ちている。それは出会いと存在である。ロータリークラブの特異性は会員の一人ひとりが社会の一員であることと共に、ロータリアンであることを自覚し誇りを持っていることであろう。毎週のミーティングは会員相互の理解と信頼を深め、かけがえのない人間関係を形成する。互いの人格を認め合い、尊重し合うことは人間の尊厳に通じる。

社会で活躍しているから、あるいは事業に成功しているからといって必ずしも完成された人間性は

平和と紛争予防／紛争解決月間

例会予定	2月14日(金)	2月22日(土)	2月28日(金)	3月6日(金)
	休会(定款8-1)	2月21日(金)例会変更 東尾張分区 IM 12:30~ キャッスルプラザ	祝福 卓話 日本セーリング連盟 柴沼 克己様	第9回理事会 11:15~ 卓話春日井市長 伊藤 太様

<ピース>

2020年2月7日(金)2433回(2月第1例会)

持ち合わせていない。しかしロータリーの中に身を置くことで、教えられ磨かれていく自分に喜びを感じない会員はいないであろう。

会員に上下関係は全く存在しない。教科書もない。しかしそこには人として社会の一員としてどうあるべきかを意識している者同士が存在する。

毎週の例会出席を疑問視する外部の声はある。しかし崇高な理念を求め日常の生活においてそれを実践しようとする会員の豊かな人間性に触れるとき、共有できるその時間と空間こそがかけがえがないのである。毎週の例会こそが楽しみであり有意義なのである。

私はロータリークラブの一員であることに喜びと誇りを感じずにはいられない。

社会で活躍している多くの人達にロータリーの素晴らしさを伝えたいと思う。

今年度上半期において4名の入会式をさせていただきました。下半期においても1月に3名をお迎えしました。2月にも1名を予定しています。私達の活動が、多くの方に感心と興味をもって頂くことは重要であります。これからも多くの方にご参加いただくためにもさまざまな機会をとらえロータリーの素晴らしさを伝えていきたいと思えます。

これで本日の会長挨拶とさせていただきます。ご静聴ありがとうございました。

幹事報告 幹事 青山 博徳君

来週2月14日金曜は定款8-1により休会となりますのでご留意下さい。

次回2433回の例会変更2月22日土曜12時半からキャッスルプラザにて東尾張分区 IM となります。(昼食をご用意し、17時半散会で夕食は有りません)

2月の祝福はプラザホテル勝川で開催されます28日第3例会にて執り行いますので、該当及び関

係者の皆様のご出席を宜しくお願い致します。

先にご案内した4月2日(木)春日井CCにて3RC親睦コンペの応募締切は2月25日火曜です。空港RC・城北RCのお仲間も多数参加されますのでホストクラブとして奮ってご参加下さい。

2月13日木曜より17日月曜まで清水屋春日井店4階催事場にて「2020春日井ロータリークラブ写真展」を開催致します。ご家族ご友人お誘いの上、多数ご来場願います。

◎例会変更のお知らせ

瀬戸北 R C	2月18日(火)→2月20日(木) 夜間例会の為 木曽路
瀬戸 R C	2月19日(水)→2月22日(土) IMの為 キャッスルプラザ
江南 R C	2月20日(木)→2月22日(土) IMの為 キャッスルプラザ
岩倉 R C	2月18日(火)→2月22日(土) IMの為 キャッスルプラザ

出席報告

委員長 藤川 誠二君

会員 54名	欠席 19名	出席率 64.8%
先々週の修正出席	休会	休会

ニコボックス委員会

委員長 梅村 守君

○卓話します。あがってますうまくしゃべれますか？
加藤久仁明君

○同じく卓話させていただきます！

よろしく願います。 森部 清孝君

○卓話 とりわけ未だ知らぬ森部さんに期待

松尾 隆徳君

○1/263回目のエレクト研修に行ってきました。

和田 了司君

○加藤さん、森部さんがんばって！青山 博徳君

○加藤君、森部君の卓話楽しみです。

稲垣 勝彦君 梅村 守君 大原 泰昭君

岡本 博貴君 加藤 茂君 川瀬 治通君

北 健司君 芝田 貴之君 清水 勲君

宅間 秀順君 朽本 正樹君 内藤 修久君

長曾 篤志君 成瀬 浩康君 西尾 隆吏君

西村 輝幸君 場々大刀雄君 速水 敬志君

廣瀬 清司君 藤川 誠二君 古屋 義夫君

三上 努君 水上 耕一君 村瀬 昌史君

屋嘉比良夫君 山田 治君
○ご協力ありがとうございます。

ニコボックス委員会

卓話

森部 清孝君

自己紹介

この度は、早々にこのような機会をいただき誠にありがとうございます。先日の入会式の際、自己紹介をさせていただきましたが、改めて少し詳しく紹介をさせていただきます。

私は、昭和47年に春日井市のとなりの小牧市で生まれ、現在47歳、今年年男となります。昭和47年といえば、第2次ベビーブームで団塊ジュニア世代と呼ばれる時代でした。小中高と小牧市内の学校に通いましたが、自宅の近所にはたくさん子供たちがいて、幼少期は日が暮れるまで、毎日友人たちと遊んでばかりでした。小学校の高学年になると、部活動に熱中し、小学校ではバスケットボール部、中学校、高校とバレーボール部に所属し、高校では進学校ながら県大会まで勝ち進みました。その後大学は昨今たびたび世間を賑わす日本大学を卒業いたしました。

大学生活は関東の方で過ごしましたが、最初の就職では地元に戻り、名古屋市内に本社のある、中堅ゼネコンの名工建設株式会社に平成8年に入社いたしました。

既にバブルの時代は終わりかけていたのですが、当時中部地方は、東海北陸自動車道や東海環状自動車道、平成17年に開催された愛・地球博に向けてのリニモ工事等、大規模工事が目白押しでした。

そんな中、私は他社と共同で大規模工事をするJV工事に配属される機会が多く、中でも合掌村で有名な白川郷地区の白川郷インターと富山県の五箇山インターを結ぶ東海北陸自動車道のトンネル工事が非常に衝撃的でした。

トンネル工事は、トンネルボーリングマシンという掘削機で掘り進む機械掘削方式や、ダイナマイトなどで地山を爆破して掘り進む発破掘削方式などがありますが、この現場はダイナマイトを使用する発破掘削の現場でした。

そこでの体験は、想像もしていなかった出来事の連続で、決して大げさではなく、日々命の危険と隣り合わせの毎日でした。トンネル内が崩落する危険はもちろん、トンネル内で、現場監督作業をしていると、突然、数分後に爆破をするという予告のサイレンが鳴り、サイレンが鳴ると一目散に数百メートルごとに設置されている避難用の鉄板の後ろに隠れ、爆破の際にもものすごいスピードで飛んでくる飛び石に当たらないよう退避します。そして爆破の衝撃が落ち着くと、毎回トンネル用ヘルメットと野球の審判のプロテクターのような防具で完全装備をし、最も危険な最前線へ岩盤の硬さや湧き水の有無などを観察に向かいます。そのときが、いちばん崩落に巻き込まれる危険性が高いです。定期的な検査の際は、国交省などの方々も同様の防具をつけて立会を行います。

このような職場環境が、その時代の日本に存在するのかと衝撃を受けたとともに、自分が経験するとは夢にも思いませんでした。

また作業員の方々は、普段は北海道の炭坑で作業をしている期間工の坑夫の方たちで、気性の荒い方が多く、私のような、まだ経験も知識も浅い若輩者の

指示をなかなかきいてもらえず、たいへん苦労しました。当時、無我夢中で非常に高いハードルを必死に越えようとしていたおかげで、今では、たいいていので挫折することはなくなったのではないかと実感しています。

そんな名工建設勤務時代に、副会長の加藤久仁明様のいところで現在の妻と出会い、平成13年に職場結婚いたしました。

14年間、名工建設に勤務していましたが、私自身が少し体調を崩した事と、妻の母が個人で賃貸アパート経営を営んでいましたが、高齢になり個人経営が大変になってきた時期も重なり、一念発起して不動産業の資格を取得し、平成22年に高蔵寺に不動産事務所を開業いたしました。開業して今年で10年目となります。

また開業前から幹事の青山夫妻には、たいへんお世話になっておりましたが、青山幹事から春日井商工会議所青年部をご紹介いただき、入会すると、なかなか居心地がよく、積極的に活動ができ、現在監事職を務めさせていただけるまでに至りました。

社業の面においても大手不動産会社グループなどではない、我々まちの不動産業者は、地域の信頼・実績が第一のなか、開業当初どのような業態で経営していこうか模索していたのですが、積極的な商工会議所青年部活動の甲斐あって、商工会議所の空き家対策事業や、空き店舗対策事業、さらには、春日井市の空き家対策事業にも関わらせていただき、昨年、春日井広報にも自社をとりあげていただくことができ、おかげさまで順調に地域の信頼を得ることができつつあるのではないかと感じております。

その春日井商工会議所青年部では9年間活動し、卒業まであと3年あるなかで、数々の活動をしてまいりましたが、中でも春日井商工会議所50周年事業のアイデアコンテストにおいて、優秀賞を受賞できた内容が、我ながらおもしろいアイデアだと自画自賛しておりますので、手前味噌ではありますが、少し紹介をさせていただきます。ちなみに、最優秀賞は、高蔵寺ニュータウン開発株式会社様の「タクシー定期券で移動サポート」というアイデアで、非常に実現性が高いと思われます。優秀賞は私を含めて3名で、下田育雄君も受賞されました。下田くんのアイデアは「春日井『聖地』化計画 ～『聖地巡礼(コンテンツ・ツーリズム)』の可能性を求めて～」というタイトルです。

私のアイデアはと言いますと、『廃校(旧西藤山台小学校施設)を都市型(アーバン)ワイナリーとして活用し、春日井市の特産品のブドウを使用したオリジナルワインを生産する』という内容です。

いろいろな商工業目線のアイデアが詰まっていますが、簡単にまとめると、

1. 春日井市への提案として

○春日井市が「ワイン特区」に申請し、認定をも

らう

→ワインビジネスへ参入しやすくなる

2. 廃校利用および都市型ワイナリーへの提案として

○廃校を都市型ワイナリーとして活用し、春日井オリジナルワインを生産する

→廃校が有効活用できる(建設コストの負担が少ない)

→春日井ブランドの創出

○ワイナリーに、試飲スペース、直販所、レストランを併設する

→地域の活性化

○ワイナリーで各種イベントを開催、ワイナリー見学を観光コースとする

→春日井の観光地化

○ワインの瓶や樽、ラベル製造などの関連産業も期待できる

→地域雇用の創出

3. ぶどう栽培への提案

○耕作放棄地を有効活用する

→農家の高齢化、後継者不足の解消

→ぶどう栽培を目指す就農希望者やワイン醸造を目指す醸造家の育成

○ぶどうの生産管理(自分の育てたぶどうからワインをつくる)を行う企画の開催

→ぶどうの産地としての知名度があがる

というアイデアです。これに加えて、つい最近の商工会議所青年部活動で、愛岐トンネルに関わったのですが、トンネルは四季を通じて気温が一定で、なおかつ非常に趣があるので愛岐トンネルもこのアイデアに活用できるのではないかと感じました。春日井商工会議所青年部では実現するには程遠い現状ですが、様々な経験や実績のある春日井ロータリークラブの皆さんに、この「春日井ブランドワイン」による、まちおこし計画をお話しすることで可能性が広がればと思い、この場をお借りしてお伝えさせていただきました。

またつい先日も、春日井市役所の幹部の方々と非公式で会合をした際、落合公園の魅力向上計画として落合公園の夜の魅力を向上する案や、数十年後の桜の名所をめざし緑道に桜の苗木を植樹する構想などが話し合われる中、たいへんおこがましいのですが、これはロータリークラブの活動にマッチしているのではないかと感じましたので、このような構想が動きはじめた際には、何かご助言などをいただければ幸いです。

最後に、伝統あるこの春日井ロータリークラブでの活動が、私の今後の人生に影響のある時間になるよう精進してまいります。何卒ご指導のほどよろしくお願ひ申し上げます。

卓話

加藤 久仁明君

久仁明のルーツ

久仁明です。これは名前です。新しく入会した人は、私の事を久仁明、クニちゃんと呼ぶので苗字だと思っている方も要るかなと思いますが、苗字は加藤です。名簿で『ク』の欄を探しても出てきません。『カ』の欄を探して下さい。多分、見つかります。気軽に、久仁明さん、クニさんと呼んで下さい。瀬戸では、クニさと呼ばれています。

何故、久仁明と名前と呼ばれるようになったか？子供の頃からくにちゃんと呼ばれていましたが、名古屋の私立中学に入学した折、各クラスに4人前後の加藤がいて、其の頃から名前と呼ばれる事が多くなり、会社に入っても一族会社なので加藤ばかりで、久仁明とれ呼ばれ、現在もそれが続いています。ちなみに瀬戸RCでは、60名中16人、瀬戸北RCは50名中9人が、加藤でクラブ内では苗字ではなく、名前です。加藤久仁明、久(きゅう)仁(じん)明(めい)は、尾張北部地域に私が知るだけで7~8名います。私の名前のルーツは名古屋市北部の有名な姓名判断で見てもらい付けたと聞いています。加藤久仁明は、この地域だけに多くいると思います。加藤家は、春日井の地に来て私で、10代目になります。何処から来たかと言えば隣の瀬戸の水野の地域からきたと聞いています。何の為に春日井に来たかと言うと大泉寺町に有る退休寺と言うお寺の瓦葺きにする為に来たか聞いています。大泉寺地区には瓦を焼いた登り窯も出ています。退休寺と言う寺は、尾張徳川の殿様が定光寺に夏、避暑に行った帰りに休む寺です。寺の茅葺の屋根を瓦葺きする為に派遣され、そのまま居付き、瓦を焼いたり陶器を焼いたり、4代前に運輸業を始めて現在の土木建設業に至っています。皆さんも自分のルーツを調べてみては如何でしょうか？

昨年私のガバナー補佐地区副幹事の縣君が、「最近クラブの卓話で自慢話をする人がいなくなった」と言っていました。春日井RCも私が入会した20年前のメンバーの卓話は、結構私はこう云う趣味を持っていて負けないよとの自慢話的な卓話が多かった気がします。私の今日の加藤家のルーツの話も自慢話と言えばそれかも知れませんが、今後卓話をされる方が自分の隠れた趣味や得意とする自慢話をして頂ければその人の違った一面を見る事が出来、年の差があっても共感し同趣味で親密なお付き合いが出来るのでは無いでしょうか。

因みに私の隠れた趣味、1、戦車のラジコンを作り集める。2、ミニカー収集。3、宇宙戦艦ヤマト及びスタジオジブリのグッズの収集。4、戦国時代の歴史談義。5、メルクリンのHOZゲージSL収集。6、エアガン、モデルガンの収集。7、スロットカー収集。8、その他玩具の収集 etc.、この様な趣味に興味がある方、気軽にお話に来てくださいね。



会長挨拶 北 健司君



卓話 森部 清孝君



卓話 加藤 久仁明君